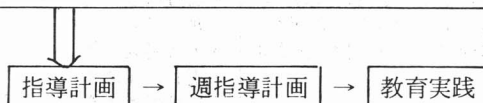


国 語 科	指導の重点	めあてを持って読み、正しく理解し、豊かに表現することができる。
	つけたい力	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 読み取ったことや考えたことを自分の言葉を使ってノートに書く力。</li> <li>◦ 練り合い、深め合って豊かに読み味わう力。</li> <li>◦ 文字や語句を正しく読んだり書いたり使ったりする力。</li> </ul>
	指導方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 読み取りの筋道を明確にして、ひとり学びの場を十分に取り入れる。</li> <li>◦ 目標を明確にし、小集団や全体での話し合いを深めさせる。</li> <li>◦ 興味を持って持続できる練習学習の方法を学年に応じて工夫する。</li> </ul>
社 会 科	指導の重点	自ら問題を見つけ、資料を生かして追求することができる。
	つけたい力	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 事象の中から疑問点・不思議に思うことを見つけ出す力。</li> <li>◦ 自分で資料を探し、進んで調べていこうとする態度。</li> <li>◦ 資料をもとに、いろいろな考えを出し合い課題解決をする力。</li> </ul>
	指導方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 事象をじっくり見させ、気づいた点を進んで発表させる。</li> <li>◦ 資料の探し方・調べ方の助言を与えながら、課題解決への的確な作業をさせる。</li> <li>◦ 資料の読み取りを深めるなかで、いろいろな見方・考え方をさせる。</li> </ul>

※2 道徳指導の重点 以下省略



(考察)

G小学校では、長期教育構想を打ち立て、それを受けて、教育基本目標・教育目標・具体目標を設定し、更に実践していくための当該年度の重点目標を洗い出してその実をあげるようにしている。

教科・領域・その他の指導の特性をおさえ、相互の関連を考慮して、年度重点目標9項目を5期

に分け、教科・領域・その他の指導の中で重点目標が達成されるようにしている。

更に、それらを受けて、教科・領域・その他の指導の重点が掲げられ、それに基づいて各教科などの指導の重点・つけたい力・指導方法が明確にされ、より具体的な指導計画へ発展させている。

(2) N中学校の実践例

